

Active is:

持続可能な将来を実現するためのサステナブル投資



Andreas Fruschki
Head of Thematic
Equity

国連の持続可能な開発目標(SDGs)は環境や社会に関する喫緊の問題に対する世界のコンセンサスを反映しています。SDGsに関する投資が生み出されたことで、成長性のある企業に直接出資しながら、地球規模で私たちが直面している最大の問題への対処を目指せるようになりました。



Alina Donets
Portfolio Manager

新型コロナウイルスの流行に端を発した市場の混乱は、市場が突然予期せぬリスクに直面した場合に何が起こり得るのかを示すことになりました。同時に今回の一連の動きは、不確実性が企業にも投資家にも同様に壊滅的なダメージを与えること、長期的な目標の追求においてはリスク管理が非常に重要であることを私たちに再認識させるものとなりました。

実際、これはサステナビリティのコンセプトの中の鍵となる理念の1つであり、個人のライフスタイルの選択に影響を与えたり、企業の経営理念をも形成するなど、今日の私たちの生活の幅広い側面に情報をもたらしています。政治の世界でもサステナビリティが注目されています。新しい政策や規則は環境問題や社会的問題の解決を目指すものとなっています。そして、金融の世界では、若い投資家が投資によって社会や環境問題に対して具体的な結果を生み出し、かつリターンも獲得できることをますます期待するようになっていきます。これこそが国連の持続可能な開発目標(SDGs)に沿った新しい投資が役目を果たすことができる分野です。

SDGsは、世界が直面している社会問題や環境問題に対処するために国連が定義した17の最終的な目標と、それを達成するための169の具体的なターゲットから構成されています。17の目標には、「貧困をなくそう」、「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、「働きがいも経済成長も」、「人や国の不平等をなくそう」などが掲げられています。SDGsを設定する際、国連は、目標達成のためにどれぐらいの

投資が必要かを定量化し、このプロセスにおいて民間からの投資が果たす役割の重要性を強調しました。アリアンツ・グローバル・インベスターズ(以下、AllianzGI)では、SDGsの重要性と投資家の共感を認識し、これらの目標に沿った運用戦略カテゴリーを構築しています。



要点

- 持続可能性に関する問題への注目度が高まったことで、世界的に投資家からの需要が増加し、サステナブル投資の選択肢が広がりました
- 国連 SDGs への貢献を目指す運用戦略は、ますます一般的になっています
- SDGs は、具体的な取り組みが最も必要とされている世界の問題を反映し、環境問題や社会問題への対処に向けて国連が設定した一連の目標です
- SDG 戦略は、特に経済的リターンを得つつ、現実世界へも貢献したいと考える新世代の投資家にとっては、魅力的なものとなる可能性があります
- 様々なリスクを管理しながら長期的な目標に焦点を合わせ続けることは、特に株式市場のボラティリティが高い期間に、パフォーマンスにプラスに影響すると考えています

SDGsとは、世界が直面している社会問題や環境問題に対処するために国連が定義した17の最終的な目標と、それを達成するための169の具体的なターゲットから構成されています。

SDGsテーマにフォーカスした運用投資の構築

SDGs関連戦略を生み出すうえで、AllianzGIでは、テーマ型運用戦略的なアプローチを採用しています。具体的には、SDGsの各テーマのうち少なくとも1つ以上で目標とされている具体的な成果を特定し、そうした目標への到達に貢献している企業を分類すべく、AllianzGIの運用プロセスを活用しています。このSDGs運用戦略のアプローチによって、投資家は、持続可能なエネルギーや食料安全保障のソリューションに出資するなど、具体的に、目に見える形のテーマに関与することもできます。

SDGs戦略で私たちが投資妙味のあると考える各企業は、関連するSDGsを達成するために果たす明確な役割を持っていますが、国連の目標に対する正確な貢献度合いを定量化するのは困難です。そのため、徹底した定性的リサーチ・プロセスが必要となります。AllianzGIのグローバル・テーマ・リサーチ・チームは、投資する可能性のある企業に対して様々な視点でSDGsへの寄与度を評価しています。さらに、この調査においては、ESGチーム外での対話も含む、AllianzGIの世界各地を拠点とするアナリスト間の対話も寄与しています。

世界が国連のSDGsに注目しており、関心の高まりなどから直接それらを下支えする企業は恩恵を受ける可能性が高く、確信度の高い投資ケースとなる可能性があります。AllianzGIでは、SDGs実現にどの程度寄与するかを判断して選別した企業をランク付けしています。そして、貢献度によるSDGsランキングの高さによって、ポートフォリオでの保有比率を決めます。投資プロセスにおいてESGスクリーニングも適用し、幅広いビジネスにおいてESG活動が十分ではないと思われる企業を、投資ユニバースから排除しています。

徹底した定性リサーチ・プロセスが必要であり、AllianzGIのアプローチではESGチーム以外の者との対話など、AllianzGIの世界各地に在籍するアナリスト間の対話もこの調査に活用しています。

SDGsテーマは既存のインパクト投資戦略とどのように異なるのか？

SDGs投資は、具体的な現実世界の成果に着目しており、近年人気が高まっているインパクト投資と呼ばれるものと類似点が

ありますが、決定的な違いがあります。インパクト投資は、社会的環境パフォーマンスや投資の進展を測定し、モニターすることができる特徴を有し、しばしば主要インフラ・プロジェクトのような「リアル・アセット」と結びついています。これは、全てに該当するわけではありませんが、通常はプライベート市場を通じて評価されます。グリーンボンドは上場市場でのインパクト投資の一例です。いいかえれば、インパクト投資戦略は戦略が行った投資とその結果による影響の間に明確で定量化可能な因果関係があります。対照的に、SDGs戦略では、SDGs達成に向けたプロセスを醸成する企業に投資をする可能性が高くなりますが、寄与の程度や正確な役割は1つの標準的な指標で測定するのは困難です。クリーン・ウォーターの供給にフォーカスした戦略での投資対象は、水供給企業からろ過システムメーカーまで幅広くなる可能性があり、そのため幅広い分野でポジティブな結果を生み出すでしょう。

最後に、伝統的なインパクト投資の特性は、通常、機関投資家により魅力的に映るものですが、株式SDGs戦略は流動性の高いものに投資をするため(通常上場株式)、幅広い投資家が利用しやすいといえるでしょう。流動性の高いSDGs戦略は、ポジティブな変化に寄与する企業を発掘する強固な投資プロセスを探しているすべての機関投資家にとって、魅力的なものになるでしょう。

SDG戦略の将来

SDGsに沿った運用戦略は成長している分野ですが、運用会社がサステナブル運用の幅広い需要に応える1つの方法といえるでしょう。この需要は、現実世界のソリューションを開発しているフロンティア企業(かつ責任をもって持続可能な形で経営を行っている企業)はリターンも魅力的になる可能性があることを認識している投資家からもたらされているものです。

この需要は、現実世界のソリューションを開発しているフロンティア企業(かつ責任をもって持続可能な形で経営を行っている企業)はリターンも魅力的になる可能性があることを認識している投資家からもたらされているものです。

すべてのSDGsが適切な運用戦略となるわけではありませんが資産運用業界では、投資アイデアのためにSDGsを調査し始めています。提供できる運用戦略の幅は今後拡大し、それにより地球が直面している最大の問題に取り組みつつも、投資家が成長性のある企業に出資できるようになるものと予想しています。

【ご留意事項】

- 本資料は、アリアンツ・グローバル・インベスターズ・グループ会社*(以下、当社)が作成したものです。
- 特定の金融商品等の推奨や勧誘を行うものではありません。
- 内容には正確を期していますが、当社が必ずしもその正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当社は Allianz SE 傘下のグループ会社です。
- 本資料に記載されている運用戦略の一部は、実際にお客様にご提供するにあたり相当程度の時間を要する場合があります。
- 本資料に記載されている個別の有価証券、銘柄、企業名等については、あくまでも参考として申し述べたものであり特定の金融商品等の売買を推奨するものではありません。
- 過去の運用実績やシミュレーション結果は、将来の運用成果等を保証するものではありません。
- 本資料には将来の見通し等に関する記述が含まれている場合がありますが、それらは資料作成時における資料作成会社の見解であり、将来の動向や運用成果等を保証するものではありません。
- 本資料に記載されている内容は既に変更されている場合があります、また、予告なく変更される場合があります。
- 最終的な投資の意思決定は、商品説明資料等をよくお読みの上、お客様ご自身の判断と責任において行ってください。
- 当社が提案する戦略および運用スキームは、グループ会社全体の運用機能を統合したものであるため、お客様の意向その他のお客様の情報をグループ会社と共有する場合があります。
- 本資料の一部または全部について、当社の事前の承諾なく、使用、複製、転用、配布及び第三者に開示する等の行為はご遠慮ください。

* ここでは、以下のグループ会社を総称しています。

Allianz Global Investors Japan Co., Ltd.
Allianz Global Investors U.S. LLC
Allianz Global Investors GmbH
Allianz Global Investors Asia Pacific Ltd.
Allianz Global Investors Singapore Ltd.
Allianz Capital Partners GmbH

投資顧問契約および投資一任契約のお客様は以下をお読みください。

対価とリスクについて

1. 対価の概要について

当社の提供する投資顧問契約および投資一任契約に係るサービスに対する年間報酬は、最終的にお客様との個別協議に基づき決定いたします。これらの報酬につきましては、契約締結前交付書面等でご確認ください。投資一任契約に係る報酬以外に有価証券等の売買委託手数料、信託事務の諸費用、投資対象資産が外国で保管される場合はその費用、その他の投資一任契約に伴う投資の実行・ポートフォリオの維持のため発生する費用はお客様の負担となりますが、これらはお客様が資産の保管をご契約されている機関(信託銀行等)を通じてご負担頂くことになり、当社にお支払い頂くものではありません。これらの報酬その他の対価の合計額については、お客様が資産の保管をご契約されている機関(信託銀行等)が決定するものであるため、また、契約資産額・保有期間・運用状況等により異なりますので、表示することはできません。

2. リスクの概要について

投資顧問契約に基づき助言する資産又は投資一任契約に基づき投資を行う資産の種類は、お客様と協議の上決定させて頂きますが、対象とする金融商品及び金融派生商品(デリバティブ取引等)は、様々な指標等の変動の影響を受けます。

従って、投資顧問契約又は投資一任契約の対象とさせて頂くお客様の資産において、元本欠損を生じるおそれがあります。ご契約の際は、事前に必ず契約締結前交付書面等をご覧ください。

アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ジャパン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 424 号

一般社団法人日本投資顧問業協会に加入

一般社団法人投資信託協会に加入

DBJE1186416-20200710